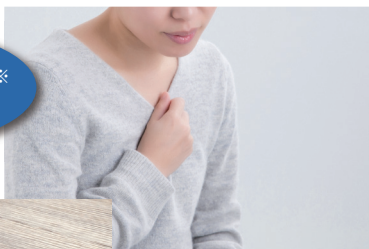


パルスオキシメータは、 どんな時に利用できる？

※パルスオキシメータは医科向け医療機器です。
必ず医師の指導のもとでご使用ください。

体調管理に※



風邪や喘息など
呼吸が苦しいときに



毎日の健康管理に



介護のシーンで

さまざまな
スポーツに※



ウォーキング



低酸素トレーニング



トレッキング・登山

仕様

表示	LCDディスプレイ
表示内容	酸素飽和度 (SpO ₂)、脈拍数 (PR)、脈拍強度 (棒グラフ)、脈波、PI値、電池残量
方式	2波長吸光度法
測定範囲	酸素飽和度 0~100 % (但し表示は99%まで)、 脈拍数 30~250 拍/分
測定精度	酸素飽和度 ± 2 % (70 ~ 100 %)、脈拍数 ± 2 拍 または ± 2 % の大きい方
電源	単4形アルカリ乾電池 2本 (付属)
寸法	縦58×横32×高さ35 mm
重量	約50 g
使用温湿度範囲	+10 ~ +40 °C、≤ 75 %RH (結露なきこと)
保管温湿度範囲	-40 ~ +60 °C、≤ 95 %RH (結露なきこと)
製造販売元	株式会社エー・アンド・デイ
一般的名称	パルスオキシメータ
販売名	パルスオキシメータ UP-200
医療機器認証番号	304AHBZX00004000
医療機器分類	管理医療機器 特定保守管理医療機器

AND 株式会社 **エー・アンド・デイ**

東京都豊島区東池袋 3-23-14

<https://www.aandd.co.jp>

お客様相談センター

〒364-8585 埼玉県北本市朝日1-243

0120-514-016

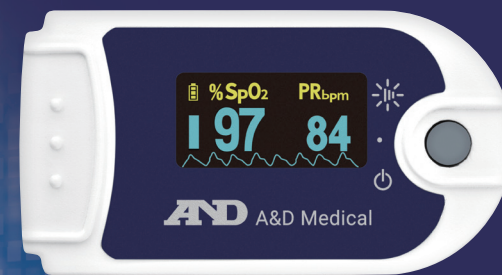
月~金曜日 (弊社休業日を除く) 9:00~12:00/13:00~17:00



お問い合わせ
フォーム

Pulse PRO

パルスオキシメータ UP-200



パルスオキシメータ UP-200



使い方はこちら

AND
A&D Medical

医療の現場と家庭をつなぐ
私たちはエー・アンド・デイです

パルスオキシメータって どんなもの？

パルスオキシメータとは、指先など体に光を透過させることで、動脈血中の酸素飽和度(SpO₂)と脈拍数を計測できる医療機器です。




血中酸素飽和度(SpO₂)とは、体内のヘモグロビンと呼ばれる赤血球の一部が、呼吸によって取り込まれた酸素と結びついている割合のことをいいます。

値は%で表し、血液中の酸素の濃度が満タンだと100%、正常値で99~96%とされています。

パルスオキシメータ利用で大切なこと

- 正確な計測値を得ること。
- 計測値を自分で判断せず、必要に応じて医師に相談すること。

パルスオキシメータ豆知識

 以下の場合、正しく測れないことがあります。ご注意ください。

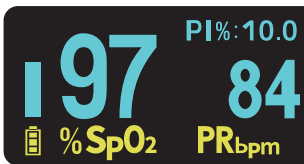
指先が冷えている	マニキュア付け爪をしている	激しい運動をした直後
本体周辺に強い光がある	血圧測定中など腕を加圧している	測定中に手や指を動かす

簡単・シンプル操作



指を入れてボタンを押すと測定スタート。
指を外すと自動で電源オフします。

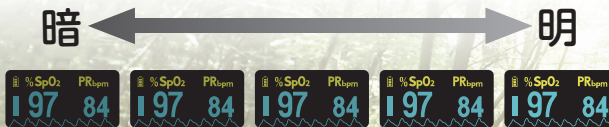
正確な測定のためのポイント



測定している指の血流状態を示す指標です。冷えなどで血流が低下すると数値が下がります。

PI値表示があることで測定状態が良好かの判断に役立ちます。

画面の明るさを5段階に調節



- 在宅でパルスオキシメータを利用する際の注意点(医療用途での自己利用はできません)①医師、医療従事者及びその指示を受け使用方法の説明を受けた者が使用すること。②医師の指導なく、パルスオキシメータの数値によって疾患の自己判断を行わないこと。③低酸素血症の兆候による受診判断等に関しては、医師よりその機器を使った受診判断指導を受けた上での使用が必要です。④医師への適切な情報提供のため、表示された数値だけでなく、測定時の状況、体調その他自覚症状、脈拍数や脈波レベル等の同時に取得されている数値やエラー表示等伝えて伝える必要があります。
- 使用及び取扱上の注意事項①マニキュア、付け爪、ジェルネイル等をつけている場合は、外して測ること。②取扱説明書を読んで正しく装着し、正しい位置で測定すること。③測定するときは体や機器を動かしたりしないこと。④脈動が弱くなっているとき、血圧が低いときには不正確になることがあります。⑤一酸化炭素中毒や喫煙直後には不正確になるおそれがあります。⑥周囲の光(照明灯、蛍光灯、強い直射日光等)の影響を受ける環境にある場合は、不正確になるおそれがあります。
- 安全性に関する記載①長時間の装着は低温やけどや皮膚炎等の恐れがあるため、連続装着は避けること。②有害事象例:低温やけど、痛み、アレルギー反応、皮膚炎、かぶれ、血行障害。

どんな角度でも見やすく自動回転



ご自身で計測するときはもちろん、他の方の計測をする時にも便利です。

付属品



持ち運びにも便利。